

1. 日時：2018 年 3 月 12 日（月） 14:00～17:00

2. 場所：公益社団法人土木学会関西支部会議室

(541-0055 大阪府大阪市中央区船場中央 2-1-4 船場センタービル 4 号館 409 号室)

3. 出席者：14 名（敬称略，下線は欠席者）

委員：西山峰広，宮川豊章，佐藤裕一，中村健一，荒木茂，阿波野昌幸，市岡有香子，市澤勇彦，井上晋，上田多門，大久保孝，大下栄吉，上田昇，大塚夕，鎌田敏郎，寒川勝彦，岸本一蔵，葛目和宏，久保善司，倉富芳朗，坂田博史，島田安章，杉田篤彦，田中秀人，谷昌典，寺口秀明，中塚侑，中村佳史，野上克宏，服部篤史，堀内達斗，丸山一平，三方康弘，山下亮，吉田正友

オブザーバー：河野広隆

講演者：服部 篤史 委員（京都大学大学院）

西山 峰広 委員長（京都大学大学院）

4. 配布資料：

1：土木学会関西支部 中小規模自治体における社会基盤構造物の維持管理 調査報告（服部篤史 委員）

2：メキシコ・モレロス州を震源とする地震（西山 峰広 委員長）

3：日本建築学会「メキシコ中部の地震災害調査団（2018.1.18-21）」速報会資料（西山 峰広 委員長）

5. 議事内容：

(1) 「土木学会関西支部 中小規模自治体における社会基盤構造物の維持管理 調査報告」に関して服部篤史委員（京都大学大学院）より説明があり，以下の質疑応答がなされた。（質疑応答）

- ・ 中小規模自治体では土木技術者が少ないと思うが，どのように対応するか？
→ 府県が発注支援することが多い。また地方整備局が発注支援をした例もある。少数の技術者が広く浅く対応しなければならない困難がある。
- ・ この調査の成果はガイドライン等としてまとめられるのか？
→ そこまでできていない。
- ・ 計測ステップ—ひずみゲージ関係の図はどのように理解すればいいのか？
→ よく分からない。勾配からプレストレスの消失を判断できる。
- ・ 少ない土木技術者がどのような優先順位で対応するのか？
→ 構造物の重要度を考える。通学路や重要産業の通勤路の橋・道路を優先するなど。
- ・ 構造性能に基づく優先順位をどこまで盛り込める？
→ 難しいが，少しでも対応できるよう国交省がグレーディングを試みている。

(2) 「2017年9月メキシコ・モレロス州を震源とする地震被害調査報告」に関して西山峰広委員長（京都大学大学院）より説明があり，以下の質疑応答がなされた。

（質疑応答）

- ・ ソフト・ファーストストーリーとピロティとの違いは？
 - 同じ。
 - 日本ではS造である程度設計に採り入れている。ただし弾性に収める。
- ・ 建築分野の「崩壊」の定義は？
 - 日本では落階の有無が「大破」と「崩壊」の違い。メキシコの区分はよく分からない。
- ・ フレーム内の組石壁は地震時以外に落下しないか？
 - 分からない。
- ・ せん断への配慮は？
 - 現行設計ではACIに近い基準でかなりのせん断補強筋を入れているはず。
- ・ 耐震補強の基準は？
 - 基準が存在するかわからない，耐震補強は実施されている。
- ・ 土木構造物の被害は？
 - 聞いていない。

(3) 次回の開催日時について

次回は，後日，日程調整を行う。

以上 （記録：佐藤）